

平成30事業年度

決 算 報 告 書

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

国立大学法人宮崎大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人宮崎大学
(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,523	9,583	60	(注1)
施設整備費補助金	138	141	3	
厚生労働省交付金	-	-	-	
補助金等収入	1,153	1,247	94	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	0	
自己収入		-		
授業料、入学金及び検定料収入	2,983	2,914	△ 69	
附属病院収入	18,549	19,926	1,377	(注3)
指定管理料収入	238	229	△ 9	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	501	671	170	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,656	2,377	721	(注4)
引当金取崩	-	46	46	
長期借入金収入	604	604	0	
貸付回収金	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	-	-	
目的積立金取崩	-	16	16	(注5)
計	35,383	37,796	2,413	
支出				
業務費				(注6)
教育研究経費	11,147	10,895	△ 252	
診療経費	19,294	20,800	1,506	
施設整備費	780	783	3	
補助金等	1,153	1,244	91	(注7)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,656	2,243	587	(注8)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,353	1,345	△ 8	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	35,383	37,313	1,930	
収入－支出	0	483	483	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因運営費交付金(年俸制導入促進費)の追加交付や、計画段階で予定していなかった特殊要因運営費交付金(退職手当)と機能強化経費の繰越により、予算額に比して、60百万円増額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、各種補助金の受入額の増加により、94百万円の増額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、平均在院日数短縮やDPC係数上昇による入院診療単価の上昇、高額手術件数割合の上昇等により、予算額に比して決算額が1,377百万円増額となっています。
- (注4) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究及び受託事業等の受入増により、予算額に比して決算額が721百万円増額となっています。
- (注5) 目的積立金取崩については、年度途中での取崩計画の変更により、予算額に比して決算額が16百万円増額となっています。
- (注6) 業務費のうち、教育研究経費は、計画段階での退職者見込み数より退職者が減少したこと、複数年にわたる事業において業務達成基準を適用し支出を次年度に繰り延べたこと、附属図書館と農学部の建物改修に係る移転費用を次年度に繰り延べたこと等により、予算額に比して決算額が252百万円減額となっています。

一方で、診療経費は、（注3）に示した理由や、手術件数増加に伴う消耗材料の使用量の増、橘通りクリニック撤退に伴う歯科外来改修等による増等により、予算額に比して決算額が1,506百万円増額となっています。

（注7） 補助金等については、（注2）に示した理由により、予算額に比して決算額が91百万円増額となっています。

（注8） 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注4）に示した理由により、予算額に比して決算額が587百万円増額となっています。